

## 12月の山岳遭難発生状況（H14年～H28年）

平成14年から平成28年までの12月中は、29件33人の山岳遭難が発生しています！  
 （遭難者の内訳 ～ 死亡4人、行方不明0人、負傷9人、無事20人）

○ **冬山における道迷いの主な原因は「吹雪による視界不良」**

- ・ 地図、コンパス、GPS、ルート旗等の道迷い防止装備を携行しましょう。
- ・ 下山時に方向を誤るケースが多いので、下山前に方向を確認しましょう。
- ・ 日帰り登山でもコンロやツェルト等のビバーク装備を携行しましょう。

○ **万一の遭難に備えて通信手段の確保を！**

- ・ 万一のときに「どこにいるのか」「どんな状況なのか」「どうすれば良いのか」など救助要請に必要な情報を伝達する通信手段を確保しておきましょう。
- ・ 「予備電池を持つ」「電源を切り本体を暖めておく」「携帯電話のほかにアマチュア無線機を持つ」などの備えが必要です。

※ 遭難者の救助要請が自宅にいる家族や友人を介してされることがあります。  
 迅速、的確な救助のためには、遭難者自らが110番通報で救助要請してください！

山岳名など	発生年月日	犠人数	遭難者	原因	備 考
旭岳（2,291m） （東川町）	平成24年 12月27日（木）	1	負傷1	道迷い	30代男性がロープウェイ山頂駅からスキーで新雪を滑るためコース外を滑走中、吹雪で視界不良となり下山方向を見失い道に迷い山中でビバーク、翌日、道警ヘリが救助
	平成26年 12月28日（日）	1	負傷1	滑落	40代男性が標高2,000メートル付近を下山中、地獄谷側の斜面を約50メートル滑落して左足を負傷、石室まで自力下山したがロープウェイ運行時刻を過ぎたため救助要請
朝里岳（1,281m） （札幌市南区、小樽市、赤井川村）	平成20年 12月6日（土）	1	無事1	道迷い	50代男性が札幌国際スキー場から余市岳を目指したが、吹雪となり通称「飛行場」から引き返したが途中で下山方向を見失う
	平成21年 12月30日（水）	4	無事1	疲労	30代男性が仲間と滑走目的で札幌国際スキー場から朝里岳を目指したが、疲労による体調不良で行動不能となる
	平成28年 12月28日（水）	1	無事1	道迷い	40代男性が札幌国際スキー場の管理区域外をスノーボードで滑降中、道に迷う
黒岳（1,984m） （上川町）	平成19年 12月1日（土）	1	無事1	道迷い	30代男性が山頂からスキー滑降中、吹雪で下山方向を間違えて東方向に下ってしまい道に迷い、遭難4日目に道警ヘリが救助
	平成23年 12月11日（日）	2	負傷1	滑落	40代男性が黒岳スキー場でスノーボード滑走中、急斜面で滑落して胸部を負傷
	平成27年 12月21日（月）	5	死亡1	転落	40代女性が黒岳北壁を登頂後、山頂付近の岩壁から転落して行方不明となり、翌日同行者が遭難者を発見し、道警ヘリで収容
白井岳（1,925m） （札幌市南区）	平成18年 12月2日（土）	2	無事2	道迷い	20代と30代の男性が白井岳からスノーボードで滑走し札幌国際スキー場に戻ろうとしたが深雪のため思うように進めず山中でビバーク、翌日、道警ヘリが救助
	平成24年 12月2日（日）	2	無事2	道迷い	40代男性2人が山頂から札幌国際スキー場を目指してスキーで下山中、朝里岳沢で現在地、下山方向が分からなくなり山中でビバーク、翌日、札幌市消防ヘリが救助

阿女鱒岳 (1,014m) (赤井川村)	平成14年 12月15日(日)	2	負傷1 無事1	道迷い	20代と30代の男性がキロロスキー場から阿女鱒岳を目指したが雲に覆われたため山中でビバーク、翌日、下山途中に道に迷う
小化雲岳 (1,925m) (東川町、美瑛町)	平成15年 12月30日(火)	4	負傷1	道迷い	30代女性が下山中、猛吹雪による視界不良で仲間3人とはぐれて山中でビバーク、翌日、道警へリが救助
稀府岳(まれっぶだけ) (702m) (伊達市)	平成27年 12月20日(日)	7	死亡1	病気	70代男性が3合目付近を登山中に急に胸の痛みを訴えて行動不能となり、防災へりに収容し病院搬送するも死亡
野牛山(野中山) (539m) (札幌市南区)	平成16年 12月15日(水)	1	無事1	道迷い	60代男性が山スキーで散策のため入山したが下山途中に道に迷う
無意根山 (1,464m) (札幌市南区)	平成27年 12月20日(日)	1	無事1	道迷い	50代男性が山スキーで入山したが、千尺高地付近で道に迷い、道警救助隊が発見救助
長峰岳 (1,080m) (赤井川村)	平成27年 12月20日(日)	2	無事1	道迷い	40代男性が友人とスキー場管理区域外をスノーボードで滑走中に道に迷い救助要請、スキーパトロールが発見救助
貫気別山(ぬきべつやま) (994m) (留寿都村)	平成27年 12月27日(日)	2	無事2	道迷い	50代と40代の男性2名がスキー場管理区域外をスキーで滑走中に視界不良で道に迷い、救助要請、スキーパトロールが発見救助
ニセコアンヌプリ (1,308m) (虻田郡倶知安町、ニセコ町)	平成28年 12月30日(金)	1	無事1	道迷い	30代の女性がスキー場管理区域外をスキーで滑走中に道に迷い、救助要請
手稲山 (1,024m) (札幌市手稲区、西区)	平成27年 12月31日(木)	1	無事1	道迷い	10代男性が手稲山南東斜面のスキー場管理区域外をスキーで滑走中、道に迷い救助要請
	平成28年 12月20日(火)	1	無事1	道迷い	40代男性がサッポロテイネススキー場管理区域外をスキーで滑走中、道に迷う
三角山 (311m) (札幌市西区)	平成28年 12月17日(土)	1	死亡1	病気	「三角山で人が倒れている」との通報により、防災へりで60代の男性を収容
上ホロカメットク山 (1,920m) (上富良野町、南富良野町、新得町)	平成20年 12月21日(日)	2	負傷1	滑落	30代男性が通称「八ツ手岩」を登はん中に足を踏み外して約3メートル滑落し右足首を負傷
ヤオロマップ岳 (1,794m) (新ひだか町、大樹町)	平成20年 12月30日(火)	1	負傷1	滑落	30代男性がヤオロマップ岳東側尾根上を縦走中に雪庇を踏み抜いて約700メートル滑落し首及び左脇腹を負傷
雲井の滝 (層雲峡)	平成21年 12月27日(日)	2	負傷1	滑落	30代男性がアイスクライミング中に1ピッチ目(約40メートル)の終了点付近でスリップして約20m滑落し左足首を負傷
ピヤシリ山(987m) (名寄市)	平成21年 12月30日(水)	1	無事1	疲労	40代男性が新生からピヤシリ山を目指したが見晴山付近で膝痛と疲労のため行動不能となる
藻琴山(1,000m) (美幌町、大空町、小清水町、弟子屈町)	平成28年 12月25日(日)	1	無事1	道迷い	40代男性がスノーボード滑降を目的に入山するも屏風岩付近で道に迷う
雌阿寒岳(1,499m) (釧路市)	平成24年 12月8日(土)	2	負傷1	滑落	50代女性が7合目付近の斜面をアイゼンを履いて下山中、雪面に足を取られて約10メートル滑落し岩に右足首を強打して負傷
三段山(1,748m) (上富良野町)	平成24年 12月16日(日)	7	死亡1	雪崩	70代男性が三段山の二段目(標高約1300メートル付近の急斜面)をスキーで滑走中、雪崩(幅約60メートル、長さ約70メートル)に巻き込まれ死亡

カルルス山 (1,075m) (登別市)	平成28年 12月10日 (土)	1	無事1	その他 (体調不良)	30代男性がスノーシューで入山したが、下 山中に体調不良となり、救助要請
-------------------------	---------------------	---	-----	---------------	---

- 雪山では、積雪で登山道が埋まり、標識や目印等が見えない雪の上を歩くため、広い尾根上や雪原では登山ルートを見失いやすくなります。  
さらに吹雪でホワイトアウト（視界が利かない状態）や強風で雪上の足跡が消失するなどのマイナス要因が加わると道迷いで遭難するリスクが高まります。
- 山の上は天候が急変しやすいので、入山前には必ず気象状況を確認するとともに行動中も気象の変化に気を配り、天候の悪化が予想されるときは登山を中止しましょう。